



中間貯蔵施設区域及びその周辺の 動・植物等調査結果(2021年度)

2022年12月
環境省

動・植物調査の結果（令和3年度）

本業務は、中間貯蔵施設事業としての除去土壌の輸送、分別処理及び分別土壌の貯蔵工事等の実施に際し、動・植物への影響の有無を確認するため、中間貯蔵施設区域内及びその周辺において調査を実施しました。

双葉町(中間貯蔵施設区域及びその周辺)

●調査時期

- ・ 4月～8月及び2月～3月（魚類、底生生物、猛禽類）

●調査項目

- ・ *魚類：7目14科34種

タナゴ、ニホンウナギ等が確認されました。

- ・ *底生生物（貝類）：3目7科9種

ヒラマキミズマイマイ、コモチカワツボ等が確認されました。

- ・ *底生生物（水生昆虫）：8目63科211種

ルイスツブゲンゴロウ、クロホシコガシラミズムシ等が確認されました。

これら魚類・底生生物の現在の生物相は過去、同じ季節に実施した調査結果と比較して大きな変化はないものと考えられました。

●猛禽類（毎年調査）

放卵期、巣内育雛期及び巣外育雛期にあたる春・夏季にミサゴ、ハヤブサ、オオタカ、サシバ、ハチクマ、チョウゲンボウ、ノスリが、求愛・造巣期にあたる冬季にミサゴ、ハヤブサ、オオタカ、チュウヒ、ハイタカ、チョウゲンボウ、ノスリが確認されました。

大熊町(中間貯蔵施設区域及びその周辺)

●調査時期

- ・ 4月～8月及び2月～3月（魚類、底生生物、猛禽類）

●調査項目

- ・ *魚類：5目10科31種

ニホンウナギ、ホトケドジョウ等が確認されました。

- ・ *底生生物（貝類）：3目7科12種

モノアラガイ、コシダカヒメモノアラガイ等が確認されました。

- ・ *底生生物（水生昆虫）：8目64科221種

コオナガミズマシ、ホッケミズムシ等が確認されました。

これら魚類・底生生物の現在の生物相は過去、同じ季節に実施した調査結果と比較して大きな変化はないものと考えられました。

●猛禽類（毎年調査）

放卵期、巣内育雛期及び巣外育雛期にあたる春・夏季にミサゴ、ハヤブサ、オオタカ、ハチクマ、チョウゲンボウ、ノスリが、求愛・造巣期にあたる冬季にミサゴ、ハヤブサ、オオタカ、ハイタカ、ノスリが確認されました。